



青春不再来

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

新年度に向けた準備 春はもうすぐそこ

校長 大塚 啓

2月4日は立春でした。この日から暦の上では春を迎えています。保護者、地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか。先日の節分では、心の中の鬼や邪悪なものを追い祓おうと、3年生は豆まきをして気持ちを発散させていました。受験シーズンに入ってからしばらく緊張が続いている様子の3年生は、久しぶりのレクリエーションで思い切り身体を動かして、楽しく盛り上がったようです。



また、先日、今年度のまとめとなる生徒総会が行われました。山賀生徒会長からの年間の総括や各委員長からの活動報告に対する質疑応答では、活発な意見交換が行われました。そして、このたび、生徒会新役員の委嘱式が行われました。新委員長、副委員長の紹介のあと、新代議員長の中村さんから「だれにとっても居心地のよい学校となるよう頑張りたい」と、決意の言葉がありました。最後に3年生の現役員から新役員へのファイルの引継ぎがあり、委嘱式が終了しました。

今年度最後となる定期テストは、卒業を控えた3年生は1、2年生より10日早めて実施し、いよいよ卒業と進路の最終決定の時期を迎えます。

例年通りの年度末の様子ですが、生徒にしてみればただ一度限りの中1、中2、中3時代です。多くの悩みをもちながらも一生懸命頑張っている柿中生。一人一人のかけがえのない中学校時代を支えるべく、職員も生徒に親身になって寄り添いながら指導を進めているところです。

学校では、今年度の教育活動の反省をし、次年度の教育活動の改善策を練っていますが、現段階で学習面、部活動面で決定していることは次の通りです。

○定期テストについて

これまで年間4回行っていた定期テスト
→年間8回の「定着度テスト」に

○部活動について

これまで休日に年間20日以内の部活動
→休日に年間15日以内に（市内共通）

特に、定着度テストについては、後日、生徒に具体的に説明する機会を設けます。また、保護者の皆さんにも、プリント等でお知らせします。令和5年度もあと1か月余りとなりました。これからも柿中の教育活動をよりよくするため、様々なご意見を伺いながら改善を進めてまいります。

引き続き、柿中生徒に対する地域、保護者の皆様の熱いエールをよろしくお願いいたします。

生活アンケートで振り返る 「柿中のグランドデザイン」

R5年12月実施の
生徒アンケートの結果から

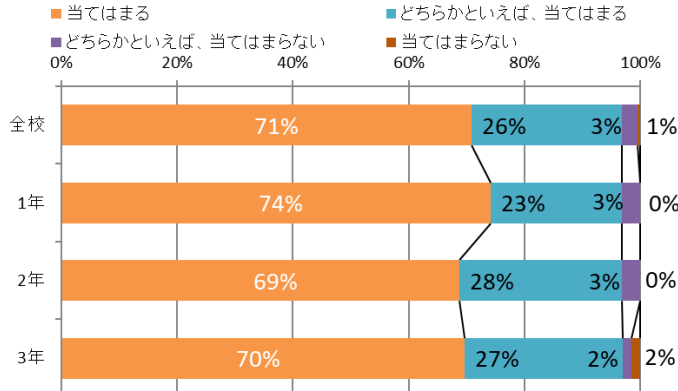
学びづくり

目 標

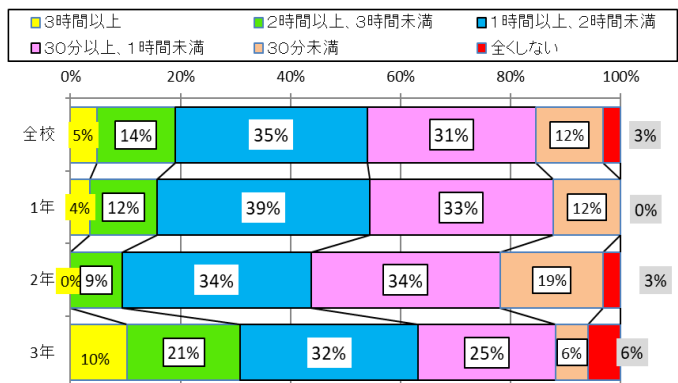
- 「毎日1時間以上家庭学習を行う」 8割以上
- 「柿中学習の姿」の達成状況に関する生徒アンケートで、肯定的評価8割以上

グラフは、回答項目の左上から順に表しています。

授業では友達と学び合って考えを 深めることができている R5年12月



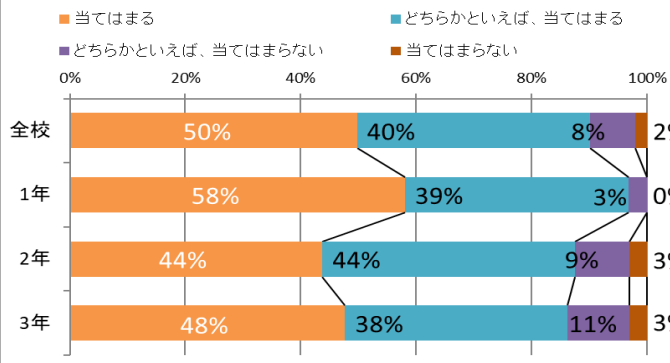
1日当たりの平均学習時間 R5年12月



目 標

- 「学校が楽しい」と回答する生徒8割以上
- 『差別をしない、させない、負けない』という気持ちをもつことができると肯定的な回答をする生徒が8割以上

学校が楽しい R5年12月

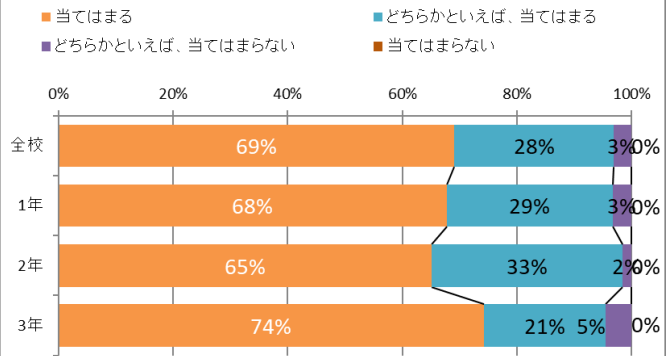


<成果と課題>

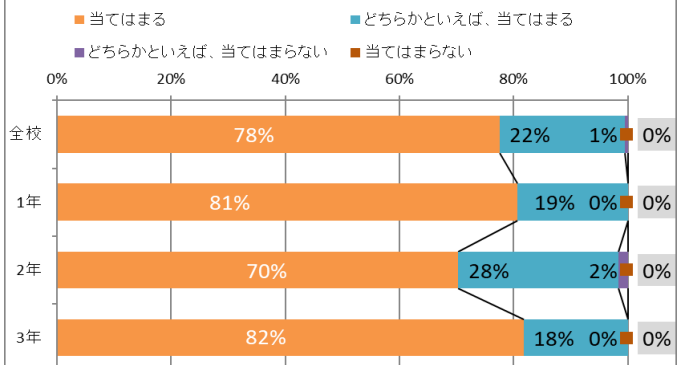
- 学習指導要領が新しくなって、「主体的に学習に取り組む態度」が大きく取りざたされました。左記結果の「学び合って考えを深める」ことが評価ポイントの一つと考えており、高い評価を得たことは意味あることと考えています。
- 「柿中学習の姿」（5ルール）の達成を目指して努力している生徒の割合は前後期通じて95%を超えています。学習規律を守り、真剣に学びに向かう姿が継続できています。
- 「毎日1時間以上家庭学習を行う」生徒は54%で、前期と同じ割合でした。しかし3年生は前期より+17ポイント大幅に増え、1・2年生は逆にポイントを下げています。受験が目の前にぶら下がってから始める傾向がとて強く、当校の大きな課題です。

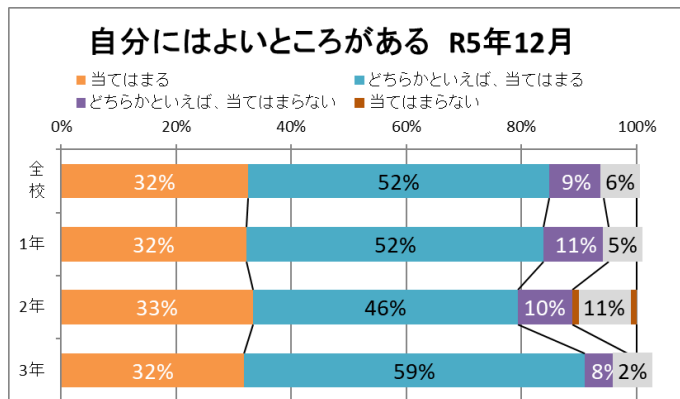
☆ 授業には真剣に向かう。しかし定期テスト前にしか学習しない傾向は過去何年も続いており、根本的な改革が必要と考えています。

自分では「5ルール」の達成に向け努力しているR5年12月



差別をしない、させない、負けない気持ちをもつ R5年12月





<成果と課題>

○「学校が楽しい」と肯定的な回答をした生徒は90%でした。高い水準ではありますが、全ての生徒が「楽しい」と、やりがいをもって活動できる学校づくりを目指します。

○今年も「差別をしない させない 負けない 気持ちをもつことができている」に肯定的な回答をした生徒が、全体で98%です。高い意識に行動が伴うよう取組を続けていきます。

☆卒業・進級に向け、学習・生徒会・学級など様々な場面で、自己有用感を高める活動を続けていきます。

身体づくり

目標

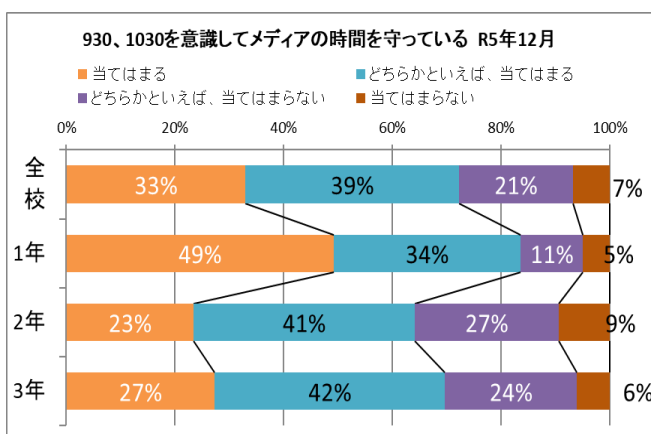
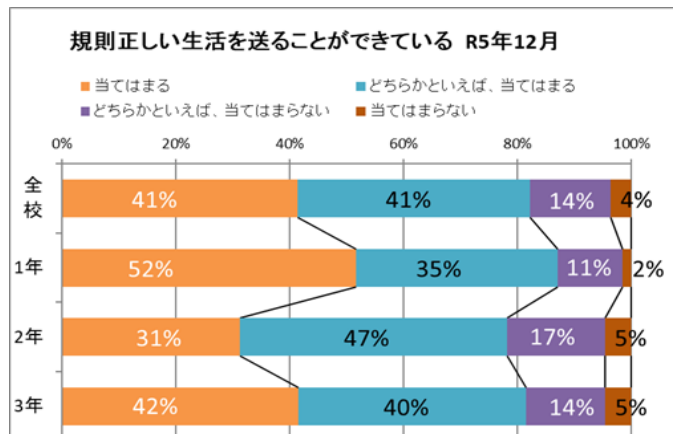
- 「規則正しい生活を送るよう心掛けている」と肯定的に回答する生徒が8割以上
- 「メディアは時間を守って使用している」と肯定的に回答する生徒が8割以上

<成果と課題>

○「規則正しい生活を送ることができている」に肯定的な回答をした生徒は82%でした。前期と比べて僅かですが全体的に上がっています。引き続き指導を強化してまいります。ご家庭でもご支援お願いいたします。

○メディアの時間について守っているとした生徒は73%です。こちらは前期と比べてわずかに下がっています。このデータは生徒のアンケートデータです。保護者のアンケートでは、スマホの保有率が1年生では65%、2年生、3年生は80%という結果でした。メディアといかに適切に付き合えるか、大きな課題です。

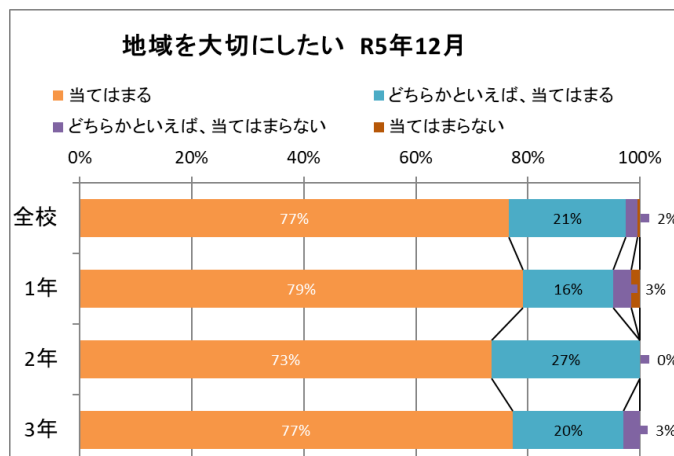
☆「SNS終了時刻を午後9:30まで、テレビ・パソコン終了時刻午後10:30まで」の呼び掛け・実態調査を生徒会が中心になって行い、生活習慣の向上を図る取組を継続してまいります。



地域とのかかわり

○地域を大切にしたいと肯定的に評価した生徒の割合は継続して高い水準にあります。

☆令和5年度は、あらゆる活動がコロナ感染症前の状態に戻りつつあります。今まで制約を受けていた行事に積極的に参加できるようになりました。これからも地域と歩む柿崎中学校を目指していきます。



Q 学力低位の生徒などへの補習などの取組はあるのでしょうか。

宿題があるかないか、よくわからないので、なければ少しでも出せるようになると学力UPになるのでは。

A 現在、朝の時間を活用した小テストの実施や家庭学習の習慣を確立するための課題の提示、希望者への放課後学習会など、学年の実態に応じた学力向上の取組を行っているところです。これらの取組を適切に評価し、次年度、学力保障のための効果的な手立てについて検討していきます。

Q 制服、体操着、通学カバンについて改善を求めます。保護者の金銭負担を抑えるためにも、校章の刺繍をすぐにでも廃止してほしい。

A 制服の刺繍については、かつて改造した制服で登校する生徒がおり、改造を防ぐために、業者の方の多大なる協力を得て付けていただいたという経緯があります。したがって、在庫状況等を考慮せず、直ちに廃止するというわけにはいきませんが、制服に関する社会通念や生徒の現状等を踏まえ、制服のあり方について再考すべき段階にあると受け止めています。

今後、より多くの方々から意見を伺いながら、制服及び体操着、通学カバンについて検討していきます。

Q 年度当初、部活動の年間計画をホームページ上にあげるといったが、いまだにアップされていない。

A 年度初めに、年間の大会や練習会が把握できていない等の理由から、予定が分かり次第、翌月の予定表を作成し、配付してきました。年間活動計画をお示しすることができず、保護者の皆様には大変、ご迷惑をおかけしました。

次年度、上越市内の中学校では休日における活動可能日が15日までとなり、今年度以上に見通しをもった活動計画が必要となります。次年度は、今年度の活動実績をもとに年間計画をお示しできるよう努力します。

この他、日頃の教育活動に対する励ましのお言葉や貴重なご提言を多数いただきました。また、1月31日（水）に実施した第3回学校運営協議会においても、学力向上に関するご意見を多数いただきました。今後も年2回の学校評価をはじめ、様々な機会をとらえて、保護者・地域の皆様のご意見を伺い、よりよい学校運営に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和6年に入り、1か月半が過ぎようとしています。「今が勝負！」とばかりに力を尽くすのは、受験生に限ったことではありません。力を注ぐ課題はそれぞれ異なりますが、努力できる環境にあることが何よりも幸せなことといえるのではないのでしょうか。

◇新潟県中学校スキー大会：1月10日（水）、11日（木）松之山温泉スキー場

小松 慎さん（1年）出場 アルペンスキー・回転 28位

◇県中学校バレーボール選抜優勝大会：1月27日（土）新潟市立下山中学校体育館

柿中バレー部出場 1回戦（VS片貝中）1-2 惜敗

◇全国中学校スケート大会：2月5日（月）ビックハット（長野市）

金子 ヒロさん（3年）出場 フィギュアスケート・ショートプログラム 36位